

日本インターンシップ学会九州支部 第19回研究会

多様なインターンシップ実践事例共有会

日本インターンシップ学会九州支部は、これまでの研究会を通じて産・官・学から多くの方々にご参加いただき、インターンシップに関する課題認識や今後の方向性について有意義な議論・情報交換を行って参りました。この度、第19回の支部研究会を開催します。研究会は、会員・非会員どなたでも参加できます。皆様のご参加をお待ちしております。 日本インターンシップ学会 九州支部長 吉本 圭一（九州大学）

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 開催概要 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

□日時： 平成29年6月3日(土) 13:30~16:00 (受付 13:00 開始)

□場所： 九州大学箱崎キャンパス 文・教育・人環研究棟 2階会議室

□テーマ 『多様なインターンシップ実践事例共有会』

従来の基本的な形態であった1週間程度の職場体験インターンシップにとどまらず、1日2日といった短期間のもの、数か月かけて行うものなど、期間の多様がみられます。また、海外インターンシップやまちづくり型のインターンシップ、企業等と協働するPBL型など形態の多様化、正課内外という教育的位置づけの多様化なども議論されるようになってきました。本研究会では、精力的に展開されている事例をご報告いただき、その成果、課題を共有したいと思います。

□プログラム：

13:30~15:30 実践報告

- (1) 実践型インターンシップ <西九州大学>
「あすなろうセンター」を中心に、専門分野にとらわれないボランティア、地域活動、インターンシップ、PBL等の体験型学習を展開。
- (2) 中間支援組織のインターンシップ <九州インターンシップ推進協議会>
年間約1000名の学生のインターンシップマッチングを行っている。昨今では、海外インターンシップなど、プログラムも多様化している。
- (3) ギャップイヤー型インターンシップ <長崎短期大学>
クォーター制とギャップイヤーを導入し、学生が地域体験や海外留学、国内外でのインターンシップを体験するプログラムを導入。
- (4) 正課型長期インターンシップ <北九州市立大学>
1年次からの2年間の地域実践活動の後、チームを離れて週3日、フルタイム勤務、5ヶ月間の長期インターンシップに休学せずに臨んでいる。

15:30~16:00 総合討論

□参加費：学会員・学生(学生証提示)；無料 / 一般・非学会員；¥3,000

□参加申込み：①お名前 ②ご所属 ③お役職 ④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥学会員・非学会員別を明記の上、以下のアドレス宛にE-mailにて**6月1日(木)迄**にお申しください。

□お申込み・お問い合わせ：日本インターンシップ学会九州支部 E-mail: jsikyushu3125@gmail.com

*誠に申し訳ございませんが、お問い合わせはE-mailにてお願いします。

主催：日本インターンシップ学会九州支部